
遊戯王GX 封竜の夢

遠鳴雷音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX 封竜の夢

【Nコード】

N8696Y

【作者名】

遠鳴雷音

【あらすじ】

注意 この作品は完全な自己満足作品です。当然オリカも存在しません。尚、主人公は非転生者でシンクロ召喚もエクシーズ召喚もありません。本作品は別の作品と平行して作っております。なので次回の投下間がまばらです。三沢がオリカを使います。三沢は空気がありません。三沢がロリコンではありません。万条目に変更があります。三沢が一つのデッキしか使いません。ミサワが漫画晩のデッキを使いません。三沢が…（以下略）

それでも大丈夫だと言う方は、ゆっくり見て逝ってね!!

第一話 封竜の鼓動（前書き）

最初に言っておく!!

俺は封竜OOOOOが好きだあああああ!!!

だからこの作品を作った、後悔はしていない。むしろ公開したい。

さあ、皆も一緒に、レッツ、イヤッフウウウウウウウウウウウウウウウウウウ!!!

第一話 封竜の鼓動

ある晴れた日の朝、人気が溢れ賑わう街道を二人の少年が走っている。

二人共学ランを身に纏い一人は必死ながらもどこかにやけた表情をしており、もう一人の少年はその少年を見て不機嫌そうなの顔を更に曇らせている。

「うわあああああああ！！遅れる遅れる遅れるううううう！！」

「こんな大事な日に限って電車が遅れるなんて……だからもっと早く試験会場に行こうと言っただろう、十代！！」

「だってよお…電車の時間も余裕だったし、普通に間に合うと思うだろう？」

「その油断がこの結果を招いたんだよ！！お前はいつもいつも注意力がなさ過ぎる、さっきだって人にぶつかって迷惑をかけてしまっただろうが！！」

「あ、そっぴやさっきの人ホントいいカードをくれたよな。このカードを使うときが来るのが楽しみだぜ！！」

「まったくお前は……お、どうやらそろそろ着くみたいだぞ。」

二人が着いたのは山の上に聳える大きなドーム、海馬ランド。

今日ここではエリートデュエリストを育成する学園、デュエルアカデミアの実時試験が開かれている。

どうやらこの二人はデュエルアカデミアの実技試験を受けに来た受験生のようだ。

着いたと同時に、二人は受付の人に声をかける。二人は事前に遅れる連絡をしていたらしく、受付の人は二人を海馬ランドの中へ案内した。

「いや、一時はどうなるかと思ったぜ。あの人がくれたカードのおかげかな。」

「俺が事前に連絡をしたからだろうが……しかし、あの人は最近どこかで見た事あるような……」

「お、どうやらあつちでデュエルやってるみたいだぜ。見学だ見学……!」

「って、こら十代勝手に走りだすな!!」

十代と呼ばれた少年は、もうひとりの少年の言葉を聞かずにデュエルの場面が見える場所まで走り出す。

いつもの事なのか、少年の方はやれやれと言わんばかりにゆっくりとその場所まで歩き出した。

「俺は罫カード、破壊輪を発動。フィールド上に表側表示で存在するモンスター1体を破壊し、お互いにその攻撃力分のダメージを受ける。これで終わりです。」

少年が着いた時には、審査員が受験番号一番三沢大地の勝利と告げる声と共にデュエルは終了し、他のデュエル全てが終了した所であった。

十代の居場所を探していると、彼は背のちっこい眼鏡をかけた少年ともう話をしている。

まだ知り合ったばかりだというの顔見知りの友人と話をするような振る舞いを見せる彼に、少年は少し微笑みながら二人に話しかける。

「十代、もう友達が出来たのか？相変わらず人懐っこい性格だな。」

「お、夢。こいつは翔っていうんだ。翔、こいつは乾夢、俺の幼馴染で一緒にこの試験を受けに来たんだ。」

夢と呼ばれた少年は翔に軽く挨拶をし、翔もまた夢に挨拶を返す。そのまま翔は夢との会話を続ける。

「君も受験生なんだね。ところで君は何番なの？」

「ああ、俺は…」

「お、すっげえ強いなお前。あんなデツキ初めて見たぜ!!」

夢の言葉を遮って十代は先ほど戦っていた三沢大地という少年に話しかける。言葉を遮られた夢は苦苦しげな顔をして十代を睨むが、十代はまったく気にしていない。

「ありがとう、所で君は？俺が受験生で最後の筈だが…」

「俺は遊城十代、電車が遅れて今受け付けを済ませてきた所。」

「そうか、とすると後ろの彼も君と同じ送れて来た受験生と言う訳か。」

十代の言葉を聞き、納得する三沢。それと同時にアナウンスの音が響く。

【受験番号3番、乾夢君。受験番号110番、遊城十代君。試験開始です。直ちに決闘場にお越し下さい。】

「ん、ちょうど呼ばれたようだな。早くいこうぜ夢。」

「ああ。って、翔君、一体何を驚いているんだ？」

「だ、だだだだっって、夢さんって筆技試験3位だったんツスか！？十代君が110番なのに二人の差が酷いツスよ！！」

どうやら翔は夢の順位に驚いているらしい。二人は決闘場に向かおうとしたが翔の驚きっぷりに笑いながら返す。

「この馬鹿十代は筆技が全然駄目だからな、そりゃ順位に差は出る。それにこういうのは個人差だからな、驚く必要もないだろう。」

「それに俺は実技だと強えからな！ここの受験生の中では一番強い自身があるぜ。」

得意げに笑う十代、一体どこからこの自身が沸いてくるのであろうか。

「む、それは聞き捨てならないな。君には悪いが一番はこの俺だ。」

「何を言ってる十代、一番は俺に決まっているだろう。」

「ん？」

三沢と夢、二人同時に十代に言い返す。が、どうやら二人も十代と同じで自分の実力に自身を持っているようだ。

「いやいや、夢が一番はありえねえだろう。俺に負け越ししてるんだから。」

「それはお前の引きが異常なだけだ。それでも勝ち星を挙げている俺の方が実力的には上だろう。」

「君達二人の実力は分からないが、伊達に主席を取ったわけではなくてね。実力的な意味でならまちがいなく一位はこの俺だろう。」

「……………十代君と夢君は早く決闘場に行きなよ。」

「遅いぞ、受験番号3番。ただでさえ遅刻しているんだ、これ以上の遅れは減点になるぞ。」

「すみません……………」

あれから急いで決闘場に来た夢であったが、当たり前のように試験官からのお小言を頂戴された。成績優秀の夢だったから小言ですんだものの、十代であったらどうなっていただろう。

「まあいい、君は優秀は生徒だから合格は確定だ。この試験はお遊びだと思っいていい、さあデュエルを始めようか。」

そういつと試験官は自身のデュエルディスクを展開した。それを見て夢は自分もデュエルディスクを展開させデュエルの準備を始める。そして夢は自分のデッキを見て周囲に聞き取れない声で囁く。

「お遊び、ねえ。んじゃま精々楽しむとするか。なあ、皆？」

夢の言葉が聞こえたのか、夢のデッキがかすかに光輝く。だが、それが見えた者は夢以外にはいなかったようだ。

「決闘っ!!!」

ターン1

先攻 夢 LP4000 手札5枚 フィールド、なし。 魔法・罾ゾーン、なし。

後攻 試験官 LP4000 手札5枚 フィールド、なし。 魔法・罾ゾーン、なし。 魔

「俺のターン、ドロー。行くぜ、俺は《封竜の巫女ウィングダ》を召

喚する！！」

《封竜の巫女ウィングダ》

効果モンスター

星4 / 風属性 / サイキック族 / 攻 1000 / 守 600

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードが召喚・特殊召喚・反転召喚に成功した時、デッキから「封竜」と名の付くカードを一枚手札に加える事が出来る。

夢の出したカードに観衆が声を上げる。試験官も同じで驚愕の表情で夢を見だす。

「何っ！？君、そのカードは……」

試験官の言葉が予想できていたのであろう、夢は微笑を加えながら試験官の問いかけに答える。

「試験官ともある貴方が知らないはずはないでしょう、《封竜》シリーズを。」

《ライトロード》の所為で歴史の闇に消え去った不遇のシリーズの一つ。

相手の召喚時発動系を無効にする効果を併せ持つこのシリーズ、まさか使う人がいるとは思わなかったようですね。」

「ああ……今更こんな古いカード達を使うなんて思わなかったよ。他にも強いカードは一杯あるだろうに。」

「《封竜》は俺にとって最強の象徴ですから。では、《封竜の巫女

ウインダ』の効果を発動！！デッキから『幼き封竜プチリュウ』を手札に加える。

そしてカードを2枚伏せてターンエンド。」

ターン2

後攻 試験官 LP 4000 手札5枚 フィールド、なし。

魔法・罨ゾーン、なし。

先攻 夢 LP 4000 手札3枚 フィールド、『封竜の巫女ウインダ』。魔法・罨ゾーン、伏せ2枚

「私のターン、ドロ！。『封竜』は確かに落とし穴などが効かない厄介なシリーズだ。だが、その代わりに全体的に火力が小さいのが弱点だ！

私は手札より『ブラッド・ヴォルス』を召喚！！そして装備魔法『デーモンの斧』を手札に加え『ブラッド・ヴォルス』の攻撃力を1000上げる！！！！

『ブラッド・ヴォルス』で『封竜の巫女ウインダ』に攻撃iiiiii
「！！！！」

『ブラッド・ヴォルス』 攻撃力2900 『封竜の巫女ウインダ』

『 攻撃力1000

「この瞬間、俺は罨カード『封竜の絆』を発動する！！攻撃を無効にし、手札から『幼き封竜プチリュウ』を墓地に送り二枚ドロする。」

カウンター罫

「封竜」と名の付くモンスターが攻撃対象に選ばれた時に発動する事が出来る。

その攻撃を無効化し、手札から「封竜」と名の付いたカードを一枚墓地に送り二枚ドロウする。

「くっ…俺はカードを2枚伏せターンエンド。(俺の伏せカードは《聖なるバリアミラーフォース》に《神の宣告》。どう転ぼうが私の勝ち揺るがない!!!)」

ターン3

先攻 夢 LP4000 手札4枚 フィールド、《封竜の巫女ウインダ》。魔法・罫ゾーン1枚

後攻 試験官 LP4000 手札2枚 フィールド、《ブラッド・ヴォルス》。魔法・罫ゾーン《デーモンの斧》。伏せ2枚。

「俺のターン、ドロウ。さて、お遊びの時間はここまで。この勝負、終わりにしましょう。」

「何っ!?君のモンスターは攻撃力10000の雑魚モンスター、それだけでどうやってこの勝負に勝つのだね!!!」

試験官の場には攻撃力2900の《ブラッド・ヴォルス》が立ち塞がっている。おまけに伏せカードも万全だ。慢心するのも無理はないだろう。

そんな気持ちを察したのか、夢は試験官の方を向き囁く。

「《封竜》。その力、覚えていませんか？」

その言葉を聞き、試験官は思い出したかのように目を見開く。

「《封竜》……ま、まさか!？」

「墓地に存在する《幼き封竜プチリュウ》の効果発動!! 《封竜の巫女ウインダ》がフィールド上に存在する時、手札・墓地から特殊召喚する事が出来る!!」

《幼き封竜プチリュウ》

効果モンスター

星2 / 風属性 / ドラゴン族 / 攻 600 / 守 600

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードは《封竜の巫女ウインダ》が自分フィールド上に存在する時に手札・墓地から特殊召喚する事が出来る。

このカードは風属性のモンスターのリリース対象になる際、2体分として扱う事が出来る。

「墓地から《幼き封竜プチリュウ》を特殊召喚!!そして《幼き封竜プチリュウ》のもう一つの効果発動、このカードは風属性のモンスターのリリース対象になる際、2体分として扱う事が出来る。

《幼き封竜プチリュウ》を生贄に捧げ、来い!! 《封竜ブロケード》
《!!!!!!》

「封竜…ブロケードだと!？」

《封竜ブロケード》

効果モンスター

星8 / 風属性 / ドラゴン族 / 攻 3000 / 守 2500

このカードは特殊召喚する事が出来ない。

このカードは「封竜」と名の付くモンスターを2体リリース事では通常召喚されない。

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードの召喚時、手札を一枚捨て相手のフィールド上の魔法・罠ゾーンのカードを全て墓地に送る事が出来る。

この時、フィールド上の相手のカードの効果は無効化される。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、自分のターン中相手の全てのカードの発動を無効にし破壊する。

「《封竜ブロケード》の効果発動！！このカードの召喚時、手札を一枚捨て相手のフィールド上の魔法・罠ゾーンのカードを全て墓地に送る事が出来る。ヴァニッシングフィールド！！！」

《封竜ブロケード》が咆哮を上げ、相手の場のカードが全て破壊される。その光景はまさに絶望一色と言っていいたろう。

「そ、そんな……私の場の伏せカードが………」

「そして手札より通常魔法《地砕き》を発動。《ブラッド・ヴォルス》を破壊する。」

無情な夢の猛撃に試験官はなす術もない。そして場を見渡し気付く。

「と、いう事は……」

「ええ、これで終わりです。《封竜ブロケード》でダイレクトアタック。そして止め、《封竜の巫女ウィンダ》でダイレクトアタック
！！」

試験官 LP4000 10000

「ぐ、ぐわあああああああ！！！！！！！！！！」

決着が着き、試験官のLP表示が0となりソリッドビジョンが展開を止め元に戻る。そして、夢はデュエルディスクを元に戻し試験官から背を向け、

「勝負あり、ありがとうございました。」

と言うと、決闘場から離れるように歩き出す。試験官はその姿を呆然とした表情で眺めているが彼は気付いていない。

夢の背後に緑色の髪をポニーに纏めた娘が夢に寄り添うように飛んでいる事に。

「ほえ、《封竜》デッキを使う人なんて始めて見たよ……十代君もクロノス先生に勝っちゃうし、二人共すごい強いなあ。」

それにしても、やっぱり思うのは……ウィンダちゃん、かあわいかつたなあ……／＼／

観客席では翔が先程の試合の事を思い返し一人にやけている。正直言ってかなりキモい。

他の人も十代と夢、二人のデュエルに驚きを隠せないのか周りの人は皆騒ぎ出している。

その中で三沢は一人、誰もいない席に向かって話しかける。

「遊城十代に乾夢か……確かに自分が一番だと掲げる程の実力はあ
るようだ。特に乾夢は俺といいライバルになりそうだな……アウス。」

「そうだね、でも私達と大地なら勝てるよきつと。」

「そうだな、俺達が負ける筈がない……乾夢、君の《封竜》は俺の
《壊虎》が相手になるう。」

第一話 封竜の鼓動（後書き）

今日の最強カードは、《封竜ブロケード》

《封竜ブロケード》

効果モンスター

星8 / 風属性 / ドラゴン族 / 攻 3000 / 守 2500

このカードは特殊召喚する事が出来ない。

このカードは「封竜」と名の付くモンスターを2体リリース事ですか通常召喚されない。

このカードの召喚時、相手の魔法・罨カードの発動を無効にし破壊する。

このカードの特殊召喚時、手札を一枚捨て相手のフィールド上の魔法・罨ゾーンのカードを全て墓地に送る事が出来る。

この時、フィールド上の相手のカードの効果は無効化される。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、自分のターン中相手の全てのカードの発動を無効にし破壊する。

まごう事なきチート、OCGならまだ対処はあるがLP4000だとマジでオワタ状態という……

前書きでも書いてある通り、この作品は封竜ブロケードを活躍させる為に書いた作品です。封竜ブロケードを知らない方は、私の別作品を見て下さい。

オリカ紹介 へ封竜 (前書き)

現在考えている《封竜》シリーズの一覧です。
何かご意見がありましたらコメントして下さい。

オリカ紹介 〈封竜〉

1 モンスターカード1

《封竜の巫女ウイнда》

効果モンスター

星4 / 風属性 / サイキック族 / 攻 1000 / 守 600

このカードの召喚時、相手は魔法・罫カードを発動する事が出来ない。

このカードが召喚・特殊召喚・反転召喚に成功した時、デッキから「封竜」と名の付くカードを一枚手札に加える事が出来る。

《封竜の巫女姫ウイнда》

効果モンスター

星7 / 風属性 / サイキック族 / 攻 2300 / 守 1600

このカードの召喚時、相手の魔法・罫カードの発動を無効にし破壊する。

このカードは自分フィールド上の《封竜の巫女ウイнда》をリリースする事により手札から特殊召喚する事が出来る。

このカードが召喚・特殊召喚・反転召喚に成功した時、デッキから「封竜」と名の付く星4までのモンスターを二体までフィールド上に特殊召喚する事が出来る。

《封竜の開鳥ガルド》

効果モンスター

星2 / 風属性 / 鳥獣族 / 攻 500 / 守 500

このカードの召喚時、相手の魔法・罨カードの発動を無効にし破壊する。

このカードは《封竜の巫女ウインダ》が自分フィールド上に存在する時に手札・墓地から特殊召喚する事が出来る。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、相手は表示形式を変更する事ができない。

《幼き封竜プチリュウ》

効果モンスター

星2 / 風属性 / ドラゴン族 / 攻 600 / 守 600

このカードの召喚時、相手の魔法・罨カードの発動を無効にし破壊する。

このカードは《封竜の巫女ウインダ》が自分フィールド上に存在する時に手札・墓地から特殊召喚する事が出来る。

このカードは風属性のモンスターのリリース対象になる際、2体分として扱う事が出来る。

《封竜の神官ムスト》

効果モンスター

星4 / 風属性 / サイキック族 / 攻1800 / 守 900

このカードの召喚時、相手の魔法・罨カードの発動を無効にし破壊する。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、相

手は特殊召喚を行う度手札をランダムに一枚捨てなければならない。
この条件を満たせない場合、相手は特殊召喚を行う事が出来ない。

《封竜の雷獣サンボルト》

効果モンスター

星4 / 風属性 / 雷族 / 攻1500 / 守1200

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、相手は手札・墓地のカードの効果を使用する事が出来ない。

《封竜の仙術師カーム》

効果モンスター

星4 / 風属性 / サイキック族 / 攻1700 / 守1100

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、相手がドロウする度に自分のデッキからカードを一枚ドロウする事が出来る。

《封竜の戦鳥ファルコ》

効果モンスター

星2 / 風属性 / 鳥獣族 / 攻600 / 守1400

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊

する。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、自分の受けるダメージは0になる。

《封竜の賢者ウィングダール》

効果モンスター

星6 / 風属性 / サイキック族 / 攻2000 / 守1000

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、相手はモンスターの効果を発動する事が出来ない。

《封竜の霊鳥グリフ》

効果モンスター

星2 / 風属性 / 鳥獣族 / 攻 800 / 守 300

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、相手は表側表示で存在する他の「封竜」と名の付くモンスターを攻撃対象に選択する事は出来ない。

《封竜ブロケード》

効果モンスター

星8 / 風属性 / ドラゴン族 / 攻 3000 / 守 2500

このカードは特殊召喚する事が出来ない。

このカードは「封竜」と名の付くモンスターを2体リリース事なし

が通常召喚されない。

このカードの召喚時、相手の魔法・罠カードの発動を無効にし破壊する。

このカードの特殊召喚時、手札を一枚捨て相手のフィールド上の魔法・罠ゾーンのカードを全て墓地に送る事が出来る。

この時、フィールド上の相手のカードの効果は無効化される。

このカードが表側攻撃表示で自分フィールド上に存在する限り、自分のターン中相手の全てのカードの発動を無効にし破壊する。

―魔法カード―

《封竜の谷》

フィールド魔法

自分フィールド上に存在する「封竜」と名の付くモンスターの攻撃力を500ポイントアップする。

相手が魔法・罠カード使用して来た時、このカードを墓地に送る事でその効果を無効にし破壊する。

《封竜の恵み》

通常魔法

自分フィールド上に「封竜」と名の付くモンスターが存在する時に発動する事が出来る。

デッキからカードを2枚ドロウする。

《封竜の開放》

速攻魔法

このカード発動時に、自分フィールド上に表側表示で存在する全ての「封竜」と名の付くモンスターの攻撃力をこのターン中、倍にする。

エンドフェイズ時、自分のライフは半分になる。

《ヴァニッシングフィールド》

通常魔法

「封竜ブロケード」が自分フィールド上に存在する時、発動する事が出来る。

次の自分のターンまで相手フィールド上のモンスター全ての表示形式は攻撃表示になり攻撃力は全て0になる。

また、相手は通常召喚・特殊召喚・反転召喚を行う事が出来ない。
このカードの効果を使用したターン中、「封竜ブロケード」の攻撃力は半分になる。

1 罨カード

《封竜の絆》

カウンター罨

「封竜」と名の付くモンスターが攻撃対象に選ばれた時に発動する事が出来る。

その攻撃を無効化し、手札から「封竜」と名の付いたカードを一枚墓地に送り二枚ドロウする。

《封竜結界》

永続罨

自分のメインフェイズ時、ライフを1000払う。払わない場合はこのカードを破壊する。

自分フィールド上に存在する「封竜」と名の付くカード全ては相手のカードの効果を受けない。

オリカ紹介 〈封竜〉 (後書き)

何故ブロケが風属性なの？普通闇か炎でしょ？と思う方もいらっしゃるかもしれませんが一応これには考えがあります。

最初は炎か闇で考えていたのですが、都合上闇と炎属性だと困るのでと言うのが理由ですが、ネタバレになるので内緒。

オリカの中にガスタシリーズの方々の名前がありますが、これにも理由があります。

《封竜》シリーズには霊使いのカードを入れようと考えており、元々ブロケードは闇か炎で考えていたのでダルクかヒータの亜種を入れる予定で進めていたのですが

、都合上闇と炎が無理になって断念。結論として風属性になりせいかく風属性にしたんだし、だったらウイン系でガスタ投入しようという結論に至り実行。後悔は何処かに捨て去った。

一応、《封竜》の設定としてはガスタの可能性の一部としており、ガスタと似て非なるものと考えております。よってシンク口召喚はしません。

いずれはガスタのカードを全投入する予定です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8696y/>

遊戯王GX 封竜の夢

2011年11月26日01時59分発行